

しき まち みす き

式町水晶 サマーコンサート

～ハンディを乗り越えた感動のヴァイオリニスト～

絶妙なトークと軽快なヴァイオリンの音色で聴衆を魅了する式町水晶 21 歳。脳性まひ障害を抱えつつも努力と希望を持ち続け、メジャーデビューを果たした感動のヴァイオリニストの熱いコンサートをお楽しみください。



Keiko(ピアノ)



渡辺庸介(パーカッション)

出演：式町水晶(ヴァイオリン)・Keiko(ピアノ)・渡辺庸介(パーカッション)

7月1日(日) 開場 13時30分 開演 14時

羽村市生涯学習センターゆとろぎ小ホール

【全席自由】大人(前売り)1,500円(当日)2,000円 小学生～高校生以下1,000円 ※未就学児は入場できません。

プレイガイド ゆとろぎ窓口、羽村市スポーツセンター、西多摩新聞チケットサービス、マルファン6店舗

問合せ：羽村市生涯学習センターゆとろぎ 042-570-0707 (月曜休館、9:00～20:00)

主催：羽村市教育委員会 企画運営：ゆとろぎ協働事業運営市民の会



インターネット販売
〔チケ探〕<http://zenkoubun.ticketan.net>

式町水晶サマーコンサート

～ハンディを乗り越えた感動のヴァイオリニスト～



式町水晶
ヴァイオリン

1996年北海道生まれ。
3歳の時に脳性麻痺（小脳低形成）と診断される。
リハビリの一環として4歳からヴァイオリン教室に通い始める。
5歳の時に網膜変性症・眼球運動失調・視神経乳頭陥凹拡大（緑内障）が見つかる。
8歳の時に世界的ヴァイオリン奏者“中澤きみ子氏”に師事。プロを志す。
音楽性の幅を広げるため、10歳からポップスヴァイオリンを始め、幅広いフィールドで活躍中のヴァイオリニスト“中西俊博氏”に師事。
現在も研鑽を積みながら、コンサート活動と楽曲制作に取り組む。
特にエレクトリックヴァイオリンによるエフェクターを駆使した独自のサウンドが評価されている。
小・中学校や自治体、老人ホームや学習施設等での講演・演奏会に多数出演。
障がい者や健常者の垣根を超えて、地域社会や若者に夢や希望を少しでも送りたいとの思いと、被災地の皆さんへの支援をとの思いで演奏活動を精力的に行っている。



Keiko ピアノ

広島生まれ。
4歳からピアノ、6歳から作曲を始め、数々のコンクールで全国一位受賞。1997年日本代表として選抜され、単身アメリカに渡り演奏旅行をする。即興演奏をテレビで披露するなど中学生から演奏活動を開始。高校から作曲理論を専門的に学び、作曲コンクールでも全国一位を受賞。東京芸大作曲科に進学。Vanilla Moodとしての活動の他にも、様々なジャンルのライブ演奏、レコーディングで活躍。
また Broadway & Wien Musical に日本人ミュージシャンとして選抜され演奏を行う。その一方で、作家・大寄慶子として、TBSの13時間に渡る音楽番組のテーマ曲を作るなど、TV番組・CM・アニメの音楽制作も精力的に携わっている。
<https://www.keicocopiano.com/profile>



渡辺庸介 パーカッション

1986年7月1日生まれ京都府出身
幼いころから和太鼓に親しみ、大学でパーカッションと出会う。
大学卒業後プロミュージシャンとして活動全国で演奏を行う。
ジャンルを問わず、様々なミュージシャンやバンドと関わり、現在は年間約200本のライブを行う。
タンバリンを主軸にあらゆる打楽器からボイスパーカッションまで様々な音色を駆使したジャンルにとらわれない柔軟かつ大胆なプレイが持ち味。
(<http://nabecussion.com> プロフィールより)